

たとえばこんなとき

- 熱が下がらない ■ 急にお腹が痛くなった ■ 夜中にけがをしてしまった

相談の流れ

#7119 に電話する



※回線が混雑しているときはガイダンスに従いそのまましばらくお待ちください。

救急医療相談

医療機関案内

相談員が対応

(看護師 または 救急救命士)

- 病気やけがの状態を把握
- 緊急性について判断



受診できる医療機関を案内

- 受診する
タイミングを
アドバイス



緊急性が
高くない場合

119番を案内



- 特に緊急度が高い場合は
そのまま119番へ電話転送

※自治体によってはご自身で119番へ
かけていただく必要があります。

緊急性が
高い場合

- ・服薬や現在通院している病院での治療方針、介護・健康・育児に関する相談は対象外です。
- ・救急医療相談を希望される場合、相談対象者がお近くにいない状況での電話には対応できません。
- ・聴覚や発話に困難のある方は電話リレーサービスをお使いいただけます。
- ・相談料は無料ですが、通話料は相談者負担です。

救うことが
できる命を
守るために



© 民衆魂2007

#7119をご活用いただき、地域の限られた医療資源である救急車の適正利用にご協力ください。

救急車の出動件数は年々増加し、現場到着までの時間が大幅に延びています。しかし、救急車が搬送した人のおよそ半数は「軽症」です。このまま救急出動が増え続けると、重症の方への対応が手遅れになり、助かるはずの命が助からなくなります。救急車の適正な利用にご協力いただき、救急車を呼ぶべきか判断に迷ったときは#7119をご活用ください。

救急医療相談は、看護師等による医療機関受診のためのアドバイス提供を目的としたサービスです。



緊急を要すると思ったら119番に電話してください。